

NSC パワーアッセンダー PRO 取扱説明書（補足）

ケンテックシステムズ

補足事項 1：充電式ドライバーの取付方法

・ 本製品に動力である充電式ドライバーを取り付ける方法は、二通りあります。どちらの方法も、使用者自身が、本製品のシャフトに対して、充電式ドライバーを取り付ける方法です。

1. 付属のワンウェイクラッチ入力軸（以下、入力軸）を充電式ドライバーのドリルチャックに取り付け、入力軸を本製品のシャフトに差し込む方法

2. 付属の入力軸を使用せずに、充電式ドライバーのドリルチャックを直に、本製品のシャフトに差し込む方法



「PRO への充電式ドライバーの取付方法」
YouTube の説明動画です。

・ 上記、1.2 のどちらの方法に関しても、充電式ドライバーのドリルチャック内のセンターに入力軸や本製品のシャフトが取り付いていないと、充電式ドライバーがズレて怪我をする危険があります。

《注意》

・ 付属の入力軸には防水機能が無いため、雨天時には付属の入力軸を使用せず、直に充電式ドライバーを本製品のシャフトに取り付ける必要があります。

・ 直に充電式ドライバーを本製品のシャフトに取り付け、充電式ドライバーを正転させると、充電式ドライバー自体が回転し、手首をひねったり顔に当たったりして怪我をする危険があるので、充電式ドライバーを本製品のシャフトに直に取り付ける場合は、使用者自身が充電式ドライバーの正逆転スイッチに穴を空け、付属のリングを取り付け、正転しないように加工を施して下さい。



「充電式ドライバーの正転防止リング取付方法」
YouTube の説明動画です。

補足事項 2：内蔵ギアに封入されたグリス

・本製品に内蔵されたギア内部にはグリスが封入されており、本製品購入当初は、その封入されたグリスが固まっているため、下降スピードはそれほど早くはありません。しかし、本製品を使用しているうちにグリスがなじみ、下降スピードが上がってきます。下降の際は、必ず制動側のロープをロープガイドのバック側からカラビナホール 2 を介してホルンの上部隙間からフロント側へ引き出し、しっかりとロープを握って制動を掛けながら下降して下さい。

最大下降スピードは 1 秒間に 1m です。それ以上のスピードで下降すると、内蔵されたワンウェイクラッチが破損します。

もし、減速機に封入されているグリスのなじみを早くしたければ、本製品に充電式ドライバーを取り付け、バッテリー 1 個が空になるまで空回しを行ってください。(ならし運転)

補足事項 3：使用可能なロープ

・本製品で使用可能なロープは、セミスタティックロープ EN1891-A (10.5mm ~ 11.0mm 伸び率 3% 未満) 並びに スタティックロープ ANSI Z359.15 (11.0 mm) の規格に適合したロープです。

特に外被が伸びず、コアと外被のずれが少ないロープが本製品の使用に適しており、外被がアラミド繊維で編まれた、Marlow Ropes PROTEC500 や、BlueWater Ropes ARMORTECH などは、外被の伸びも少なくロープの痛みも少ないため、本製品の使用に適していると言えます。

・本製品に対して使用が不可能なロープは、経年劣化により太くなったロープや、外被がたるむロープです。

・本製品に適しているロープの見分け方は、まずロープを支点に取り付けます。そして、135kg のウエイトを吊り下げノギスでロープの直径を測ります。その数値が 10.0mm 以上であれば問題ありません。更に、吊り下げたウエイトを外しノギスでロープの直径を測ります。その結果が、11mm 以内なら問題ありません。荷重が掛かった際に極端に細くなるロープや、太すぎるロープは本製品の使用には適しません。

細くなるロープはプーリーが空回りしてロープを巻き上げないだけですのでそれほど危険ではありませんが、太いロープで巻き上げを行うと、ロープがプーリーに固着し、充電式ドライバーのトルク管理を行っていなかった場合はロープの外被が破断する可能性があります。(充電式ドライバーのトルク管理を行っていれば、充電式ドライバーが自動で巻き上げを停止します。)



「PRO に適合するロープの測定方法」
YouTube の説明動画です。



「PRO の登下降方法」
YouTube の説明動画です。